

平成22年度 秋冬作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成22年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成23年6月23日(木)に三井ガーデンホテル千葉において開催された。

この検討会には、試験場関係者16名、委託関係者47名ほか、計75名の参集を得て、除草剤24薬剤(189点)、

生育調節剤1薬剤(2点)、展着剤1薬剤(4点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成22年度 秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

注) アダージンは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・維 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. AKD-7164 水和 剤 50% [アグロケミカル]	コライシバ	適用性 雑草	東日本G研 新中國G研	(2) ねらい 芝生育期(生育休止期)、 雑草発生初期/低薬量への拡大 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般(ワコヤを除く) 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量)/㎡ 全面土壌散布 芝生育期(生育休止期) 雑草発生初期 0.05g <200-300mL> 0.075g <200-300mL> 0.1g <200-300mL> 対) 一任	・処理後60日程度で の調査を希望	実・ 雑	実) [秋冬作; (コライシバ、ノシバ) 一年生 雑草] ・芝生育期(生育休止期) 雑草発生初期 ・0.05~0.2g<200~300mL>/㎡ ・土壌処理 注1) ・高薬量では一時的に葉身に白化 退色や黄化などの薬害を生じ る場合がある 注2) ・「芝生育期(生育休止期)」とは、 茎葉の一部に緑色が残ってい ても、生育の停滞している時期 を指す
	ノシバ	適用性 雑草	東日本G研 新中國G研	(2) ねらい 芝生育期(生育休止期)、 雑草発生初期/低薬量への拡大 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般(ワコヤを除く) 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量)/㎡ 全面土壌散布 芝生育期(生育休止期) 雑草発生初期 0.05g <200-300mL> 0.075g <200-300mL> 0.1g <200-300mL> 対) 一任	・処理後60日程度で の調査を希望		雑) ・倍量薬害試験での確認 (コライシバ、ノシバ) ・連用試験での確認 (コライシバ、ノシバ) ・実証試験での確認 (コライシバ、ノシバ) ・緑化木への影響の確認
	ノシバ	適用性 雑草	東日本G研 埼玉 関西G研	(3) ねらい 雑草発生前(家庭園芸用) 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 (水量)/㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 8g, 10g, 12g 対) 一任	・処理後60日程度で の調査を希望	実・ 雑	実) [秋冬作; (コライシバ) 一年生雑草、 多年生広葉雑草、スギナ] ・芝生育期、雑草発生前〜発生初期 ・8~12g/㎡ ・土壌処理 [秋冬作; (ノシバ) 一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前〜発生初期 ・8~12g/㎡ ・土壌処理
	ノシバ	適用性 雑草	東日本G研 埼玉 関西G研	(3) ねらい 雑草発生初期(家庭園芸用) 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 (水量)/㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 8g, 10g, 12g 対) 一任	・処理後60日程度で の調査を希望		雑) ・効果・薬害の確認(ノシバ) ・多年生広葉、スギナに対する効果 の確認(ノシバ) ・スギナに対する効果について年次 変動の確認(コライシバ) ・倍量薬害試験での確認 (コライシバ、ノシバ) ・連用試験での確認(コライシバ、ノシバ) ・実証試験での確認(コライシバ、ノシバ) ・緑化木への影響の確認
2. AKD-7175 粒 剤 1.2% 777777:3% [アグロケミカル]	ノシバ	適用性 雑草	東日本G研 埼玉 関西G研	(3) ねらい 雑草発生初期、スギナ(家庭園芸用) 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 スギナ 設計 薬量 (水量)/㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 8g, 10g, 12g 対) 一任	・処理後60日程度で の調査を希望		
	ノシバ	適用性 雑草	東日本G研 埼玉 関西G研	(3) ねらい 雑草発生初期、スギナ(家庭園芸用) 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 スギナ 設計 薬量 (水量)/㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 8g, 10g, 12g 対) 一任	・処理後60日程度で の調査を希望		
	ノシバ	適用性 雑草	東日本G研 埼玉 関西G研	(3) ねらい 雑草発生初期、スギナ(家庭園芸用) 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 スギナ 設計 薬量 (水量)/㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 8g, 10g, 12g 対) 一任	・処理後60日程度で の調査を希望		
	ノシバ	適用性 雑草	東日本G研 埼玉 関西G研	(3) ねらい 雑草発生初期、スギナ(家庭園芸用) 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 スギナ 設計 薬量 (水量)/㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 8g, 10g, 12g 対) 一任	・処理後60日程度で の調査を希望		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
3. BAH-0902 マイクロバ セル ベンディミタリン:38.7% [BASFジャパン]	コウライシ バ	適用性 継続	グランドイ那須GC 植調研 J埼玉 静岡G場協会 (4)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(サ科を除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.5, 0.6, 0.7mL <200~300mL> 対) クラフ ロック水和 0.12g <200~300mL> 対) ウイテッ プロフ 0.4g <200~300mL>	・処理後120~150日 での調査希望	実 ・ 継	実) ・[秋冬作: (コウライシバ、ノシバ、バ-ミュー ググラス) 一年生雑草(サ科を除 く)] ・芝生育期, 雑草発生前 ・0.5~0.7mL<200~300mL>/㎡ ・土壌処理
	ノシバ	適用性 継続	グランドイ那須GC 植調研 J埼玉 静岡G場協会 (4)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(サ科を除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.5, 0.6, 0.7mL <200~300mL> 対) クラフ ロック水和 0.12g <200~300mL> 対) ウイテッ プロフ 0.4g <200~300mL>	・処理後120~150日 での調査希望	継	・効果, 被害の確認 (クナック-ブルーグラス) ・倍量薬害試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、バ-ミューググラス) ・連用試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、バ-ミューググラス) ・実証試験での確認 (バ-ミューググラス)
	クナック- ブルーグ ラス	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.4, 0.5, 0.6mL <200~300mL> 対) クラフ ロック水和 芝生育期 雑草発生前 0.1g <200~300mL>	・処理後120~150日 での調査希望		
	クナック- ブルーグ ラス	適用性 新規	泉バ-カカシGC 埼玉G場2002 静岡G場協会 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(サ科を除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.4, 0.5, 0.6mL <200~300mL> 対) クラフ ロック水和 芝生育期 雑草発生前 0.1g <200~300mL>	・処理後120~150日 での調査希望		
バ-ミュー ググラス		適用性 継続	東日本G研 静岡G場協会 関西G研 新中国G研 (4)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(サ科を除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.5, 0.6, 0.7mL <200~300mL> 対) クラフ ロック水和 芝生育期 雑草発生前 0.12g <200~300mL>	・処理後120~150日 での調査希望		
	コウライシ バ	実証 新規	西日本G研 かごしま空港CC (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(サ科を除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.5mL <200~300mL> 対) 慣行			
	コウライシ バ	倍量薬 害 新規	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 0.7mL <200mL> 1.4mL <400mL> 2.8mL <800mL>			
	ノシバ	倍量薬 害 新規	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 0.7mL <200mL> 1.4mL <400mL> 2.8mL <800mL>			

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・維 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
3. BAH-0902 マイクロバ セル つづき	ハニミ ダグラス	倍量薬 害 新規	関西G研 (1)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 -一年生広葉 -多年生科 -多年生広葉 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 0.7mL <200mL> 1.4mL <400mL> 2.8mL <800mL>			
	芝	緑化木 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 -一年生広葉 -多年生科 -多年生広葉 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌および基葉処理 緑化木生育期 基葉処理 0.7mL <200~300mL> 樹冠下土壌処理 1.4mL <200~300mL>	土壌処理および飛 散影響		
4. BEH-447 フロアブル おろしプロ: 2.2% [バイルクロップサイエンス]	ハニミ ダグラス	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研 (4)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 スミミカタビラ等 -一年生広葉 イソパグリ類・ナジミ科・科科 その他 -多年生科 -多年生広葉 シロツクサ・オオバコ・カタバミ等 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 基葉処理 芝生育期・雑草生育期 0.15mL <100~200mL> 0.2mL <100~200mL> 0.25mL <100~200mL> 対) モミヅナ類粒水和 芝生育期・雑草生育期 0.0045g <100~200mL>	-処理後30日程度で の調査を希望	実・ 維	実) [秋冬作: (コライシバ) 一年生雑草、 多年生広葉雑草] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.15~0.25mL <150~200mL>/㎡ ・基葉処理 [秋冬作: (シバ) 一年生雑草] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.15~0.25mL <150~200mL>/㎡ ・基葉処理 (雑) ・効果・薬害の確認 (ハニミダグラス) ・多年生科雑草に対する効果の 確認 (コライシバ、シバ) ・多年生広葉雑草に対する効果の 確認 (シバ) ・倍量薬害試験での確認 (コライシバ、シバ) ・連用試験での確認 (コライシバ、シバ) ・実証試験での確認 (コライシバ、シバ) ・緑化木への影響の確認
	ハニミ ダグラス	倍量薬 害 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 -一年生広葉 -多年生科 -多年生広葉 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 基葉処理 芝生育期・雑草生育期 0.25mL <100mL> 0.5mL <200mL> 1.0mL <400mL>			
5. BS-2 粒 ベンディイタリ: 1.1% N:P:K = 10:5:5 複合 肥料 [エーディー・エス・アイテック]	コライシ バ	適用性 継続	J崎玉 門司GC (2)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 全般 -一年生広葉 全般 (材料を除く) -多年生科 -多年生広葉 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 20g, 30g, 40g 対) フリマックス 芝生育期 雑草発生前 30g	・処理後90~120日 での調査を希望	実・ 維	実) [秋冬作: (コライシバ) 一年生雑 草 (材料を除く)] ・芝生育期・雑草発生前 ・20~40g/㎡ ・土壌処理 (雑) ・年次変動の確認 (コライシバ) ・倍量薬害試験での確認 (コライシバ) ・連用試験での確認 (コライシバ) ・実証試験での確認 (コライシバ) ・緑化木への影響の確認
6. DAH-0712 フロアブル プロダミド: 36% [ダウケミカル日本]	コライシ バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 スミミカタビラ -一年生広葉 -多年生科 -多年生広葉 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.375mL <200~300mL> 0.5mL <200~300mL> 0.625mL <200~300mL> 対) イゲトツバ FL 芝生育期 雑草発生初期 0.1mL <200~300mL>	・処理時期拡大 ・処理後120日での 調査を希望	実・ 維	実) [秋冬作: (コライシバ、シバ) 一 年生雑草 (材料を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.375~0.625mL <200~300mL>/㎡ ・土壌処理 [秋冬作: (コライシバ、シバ) スミミカタ ビラ] ・芝生育期・雑草発生初期 ・0.375~0.625mL <200~300mL>/㎡ ・土壌処理 (雑) ・スミミカタビラ発生初期処理での年 次変動の確認 (コライシバ、シバ) ・連用試験での確認 (コライシバ、シバ) ・実証試験での確認 (コライシバ、シバ) ・緑化木への影響の確認
	シバ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい 対象 雑草 -一年生科 スミミカタビラ -一年生広葉 -多年生科 -多年生広葉 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.375mL <200~300mL> 0.5mL <200~300mL> 0.625mL <200~300mL> 対) イゲトツバ FL 芝生育期 雑草発生初期 0.1mL <200~300mL>	・処理時期拡大 ・処理後120日での 調査を希望		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
10. NUH-062H 顆粒水和剤 [オキナ化学工業 理研グリーン]	コウライシバ	適用性 継続	東日本G研 宇都宮大 J埼玉 門司GC (4)	ねらい 対象 雑草 -一年生(科) 全般 -一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 全面土壌処理 芝生初期 雑草発生前 0.05g <200-300mL> 0.075g <200-300mL> 0.1g <200-300mL> 対) 一任	-処理後120～150日 での調査を希望	実・ 継	実) [秋冬作; (コウライシバ、ノハ) 一年生 雑草] ・ 芝生初期 雑草発生前～発生初期 (スズメノカタビラまで) ・ 0.05～0.1g<200-300mL>/㎡ ・ 土壌処理 継) ・ 実証試験での確認 (コウライシバ、ノハ) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシバ、ノハ) ・ 連用薬害試験での確認 (コウライシバ、ノハ) ・ 緑化木への影響の確認
	コウライシバ	適用性 継続	東日本G研 宇都宮大 J埼玉 門司GC (4)	ねらい 対象 雑草 -一年生(科) 全般 -一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生初期 雑草発生初期 スズメノカタビラ3葉期まで 0.05g <200-300mL> 0.075g <200-300mL> 0.1g <200-300mL> 対) アーゾリン液剤 雑草発生初期 (芝生初期) 0.6mL <200-300mL>	-処理後100～120日 での調査を希望		
	ノハ	適用性 継続	東日本G研 宇都宮大 新中國G研 かごしま空港CC (4)	ねらい 対象 雑草 -一年生(科) 全般 -一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 全面土壌処理 芝生初期 雑草発生前 0.05g <200-300mL> 0.075g <200-300mL> 0.1g <200-300mL> 対) 一任	-処理後120～150日 での調査を希望		
	ノハ	適用性 継続	東日本G研 宇都宮大 新中國G研 かごしま空港CC (4)	ねらい 対象 雑草 -一年生(科) 全般 -一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生初期 雑草発生初期 スズメノカタビラ3葉期まで 0.05g <200-300mL> 0.075g <200-300mL> 0.1g <200-300mL> 対) アーゾリン液剤 雑草発生初期 (芝生初期) 0.6mL <200-300mL>	-処理後100～120日 での調査を希望		
11. LNS-001 顆粒水和剤 70% [エス・ディー・エス・アイテック]	ベントグラス	適用性 継続	札幌国際CC 東日本G研 関西G研 新中國G研 (4)	ねらい 対象 雑草 -一年生(科) 全般 -一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 アザミガサ科 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生初期 雑草発生初期 0.03g <200-300mL> 0.045g <200-300mL> 0.06g <200-300mL> 対) アーゾリン水和剤 0.3g <200-300mL>	-処理後90～120日 での調査を希望 ・ 展着剤を加用する	実・ 継	実) [秋冬作; (コウライシバ、ノハ) 一年生 広葉雑草] ・ 芝生初期 雑草発生初期 ・ 0.03～0.06g<100-200mL>/㎡ ・ 茎葉処理 継) [秋冬作; (ベントグラス) 一年生広葉 雑草、多年生広葉雑草] ・ 芝生初期 雑草発生初期 ・ 0.03～0.06g<200-300mL>/㎡ ・ 茎葉処理
	バーミューダグラス	適用性 新規	埼玉スギヤマ2002 関西G研 かごしま空港CC (3)	ねらい 対象 雑草 -一年生(科) 全般 -一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 アザミガサ科 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生初期 雑草発生初期 0.03g <200-300mL> 0.045g <200-300mL> 0.06g <200-300mL> 対) 一任	-処理後90～120日 での調査を希望 ・ 展着剤を加用する		継) ・ 効果、薬害の確認(ベントグラス) ・ 効果、薬害の確認 (バーミューダグラス) ・ 多年生広葉雑草に対する効果 の確認(コウライシバ、ノハ) ・ 連用試験の継続 (コウライシバ、ノハ、ベントグラス) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシバ、ノハ、ベントグラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシバ、ノハ、ベントグラス) ・ 緑化木への影響の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・雑 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
12. MAH-0802 マナブ ベンデメタリン:85% [マナテム・アグ・ソ・シ・ヤ ン]	ソバ	適用性 雑統	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般(材料除く) 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 薬量 0.5mL <200mL> <水量> 0.65mL <200mL> /㎡ 0.8mL <200mL> 比) 慣行	・処理後120～150日 での調査を希望	実 ・ 雑	・[秋冬作: (コウライソバ、ソバ)] 一年生 雑草(材料を除く) ・芝生育期 雑草発生前 ・0.5～0.8mL<200mL>/㎡ ・土壌処理 雑) ・効果、薬害の確認(ソバ) ・散布水量300mLでの効果、薬害の 確認(コウライソバ、ソバ) ・連用試験での確認 (コウライソバ、ソバ) ・倍量薬害試験での確認 (コウライソバ、ソバ) ・実証試験での確認 (コウライソバ、ソバ) ・緑化木への影響の確認
13. MBH-021 液 アミノシクロピラクロ ル:21.2% [丸和バ イタミ]	コウライ ソバ	適用性 雑統	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 薬量 0.015mL <200mL> <水量> 0.02mL <200mL> /㎡ 0.03mL <200mL> 比) MCPP液剤 雑草生育期、芝生育期 0.5mL <200mL>	・処理後30～60日 での調査を希望	実 ・ 雑	・[秋冬作: (コウライソバ)] 一年生広葉雑 草、多年生広葉雑草] ・芝生育期 雑草生育期 ・0.015～0.03mL<200mL>/㎡ ・茎葉処理 雑) ・効果、薬害の確認(ソバ) ・散布水量100mLでの効果、薬害の 確認(コウライソバ、ソバ) ・倍量薬害での確認(コウライソバ) ・連用試験での確認(コウライソバ) ・実証試験での確認(コウライソバ) ・緑化木への影響の確認
	ソバ	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 薬量 0.01mL/㎡ <200mL> <水量> 0.015mL/㎡ <200mL> /㎡ 0.02mL/㎡ <200mL> 0.03mL/㎡ <200mL> 対) MCPP液剤 雑草生育期、芝生育期 0.5mL/㎡ <200mL/㎡>	・薬量幅の検討 ・処理後30～60日 での調査を希望		
	ソバ	適用性 新規	泉バークワンGC 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 薬量 0.015mL/㎡ <200mL> <水量> 0.02mL/㎡ <200mL> /㎡ 0.03mL/㎡ <200mL> 対) MCPP液剤 雑草生育期、芝生育期 0.5mL/㎡ <200mL/㎡>	・処理後30～60日 での調査を希望		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・雑 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
14. MDH-022 液 新規化合物A:3% 既知化合物B:42% [丸和パナソニック]	ケンタッキー ブルーグラス	作用性 新規	東日本G研 静岡G場協会 (2)	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 0.05mL <200mL>, 0.1mL <200mL> 0.15mL <200mL>, 0.2mL <200mL> 比) プラスコンM 1mL <200mL>	・薬量幅の検討 ・処理後30～60日での調査を希望	雑	・効果、被害の確認 (ケンタッキーブルーグラス、ベレアルグラス)
	ケンタッキー ブルーグラス	適用性 新規	札幌国際CC 泉パナソニックGC 埼玉ササノバ2002 (3)	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 0.1mL <200mL> 0.15mL <200mL> 0.2mL <200mL> 比) プラスコンM 1mL <200mL>	・処理後30～60日での調査を希望		
	ベレアルグ ラス	作用性 新規	埼玉ササノバ2002 静岡G場協会 (2)	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 0.05mL <200mL>, 0.1mL <200mL> 0.15mL <200mL>, 0.2mL <200mL> 比) プラスコンM 1mL <200mL>	・薬量幅の検討 ・処理後30～60日での調査を希望		
	ベレアルグ ラス	適用性 新規	札幌国際CC 泉パナソニックGC 新中国G研 (3)	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 0.1mL <200mL> 0.15mL <200mL> 0.2mL <200mL> 比) プラスコンM 1mL <200mL>	・処理後30～60日での調査を希望		
15. S-482 顆粒水和 剤(メタリジン):50% [日本ケミカル・リサーチ・カンパニー]	日本芝	作用性 新規	植調研 新中国G研 (2)	ねらい 芝休眠期、雑草生育初期 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝休眠期 雑草生育初期 0.04g <100-200mL>, 0.06g <100-200mL> 0.08g <100-200mL>, 0.12g <100-200mL>	・殺草スペクトラムの確認 ・展着剤を加用する	一	(作用性)
	コライシ ン	薬害 新規	植調研 新中国G研 (2)	ねらい 芝休眠期、雑草生育初期 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝休眠期 雑草生育初期 0.08g <100mL>, 0.08g <200mL> 0.12g <100mL>, 0.16g <100mL>	・処理2～3週間後および芝萌芽期での被害を調査する ・展着剤を加用する		
	パン	薬害 新規	植調研 新中国G研 (2)	ねらい 芝休眠期、雑草生育初期 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝休眠期 雑草生育初期 0.08g <100mL>, 0.08g <200mL> 0.12g <100mL>, 0.16g <100mL>	・処理2～3週間後および芝萌芽期での被害を調査する ・展着剤を加用する		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
16. SB-201 乳 剤タイプ: 25% [ス・デー・エー・ス・エー・イ ン・イ・エー・イ ン]	コウライシ バ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中國G研 西日本G研	(4) ねらい 雑草発生前、単用および反復処理 対象 雑草 一年生(科) スズメノカタビラ 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.2mL→0.2mL (2回処理) <200-300mL> 0.3mL <200-300mL> 0.4mL <200-300mL> 対) ティンダール 芝生育期 雑草発生前 0.15mL <200mL>	・反復処理の2回目は1回目処理の1ヶ月後を目安に行う ・処理後60日での調査を希望	実・ 継	実) [秋冬作: (コウライシバ) スズメノカタビラ] 単用処理 ・芝生育期 雑草発生前 ・0.3~0.4mL <200-300mL>/㎡ ・土壌処理 反復処理 (2回) ・芝生育期 雑草発生前 ・0.2mL <200-300mL>/㎡ (散布間隔は1ヶ月を目安とする) ・土壌処理
	ベントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中國G研	(3) ねらい 雑草発生前、反復処理 対象 雑草 一年生(科) スズメノカタビラ 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.2mL→0.2mL (2回処理) <200-300mL> 対) ティンダール 芝生育期 雑草発生前 1mL <200mL>	・反復処理の2回目は1回目処理の1ヶ月後を目安に行う ・処理後60日での調査を希望		[秋冬作: (ベントグラス) スズメノカタビラ] 単用処理 ・芝生育期 雑草発生前～芝生初期 ・0.3~0.4mL <200-300mL>/㎡ ・土壌処理
	ベントグ ラス	適用性 継続	泉パ・カタウGC 東日本G研 関西G研 新中國G研	(4) ねらい 雑草発生初期、単用および反復処理 対象 雑草 一年生(科) スズメノカタビラ 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 芝葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.2mL→0.2mL (2回処理) <200-300mL> 0.3mL <200-300mL> 0.4mL <200-300mL>	・反復処理の2回目は1回目処理の1ヶ月後を目安に行う ・処理後60日での調査を希望		反復処理 (2回) ・芝生育期、雑草発生前 ・0.2mL <200-300mL>/㎡ (散布間隔は1ヶ月を目安とする) ・土壌処理 注) ・ベントグラスに対して葉が黒ずむ場合がある
	ケンタッキー ブルーグ ラス	適用性 新規	泉パ・カタウGC 東日本G研 埼玉サジ・ア2002	(3) ねらい 雑草発生前、単用および反復処理 対象 雑草 一年生(科) スズメノカタビラ 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.2mL→0.2mL (2回処理) <200-300mL> 0.3mL <200-300mL> 0.4mL <200-300mL> 対) ティンダール 芝生育期 雑草発生前 1g <250mL>	・反復処理の2回目は1回目処理の1ヶ月後を目安に行う ・処理後60日での調査を希望	継)	・効果・薬害の確認 (ケンタッキーブルーグラス) ・発生初期処理での効果、薬害の確認 (コウライシバ) ・発生初期の0.2mL/㎡ 2回処理での効果、薬害の確認 (ベントグラス) ・倍量薬害での確認 (コウライシバ) ・連用試験での確認 (コウライシバ、ベントグラス)
	ベントグ ラス	連用薬 害 新規	関西G研 新中國G研	(2) ねらい 連用薬害の確認 (単用および反復処理) 対象 雑草 一年生(科) スズメノカタビラ 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.2mL→0.2mL (2回処理) <200-300mL> 0.4mL <200-300mL>	・連年施用1回目 ・反復処理の2回目は1回目処理の1ヶ月後を目安に行う		・緑化木への影響の確認
17. SB-208 顆粒水和 剤タイプ: 70% [ス・デー・エー・ス・エー・イ ン・イ・エー・イ ン]	コウライシ バ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中國G研 西日本G研	(4) ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.03g/㎡ <100-200mL/㎡> 0.04g/㎡ <100-200mL/㎡> 0.05g/㎡ <100-200mL/㎡> 対) ティンダール 芝生育期 雑草発生初期 0.045g <200mL>		実・ 継	実) [秋冬作: (コウライシバ、ノシバ) 一年生 広葉雑草] ・芝生育期 雑草発生初期 ・0.03~0.05g <100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理
	ノシバ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中國G研 西日本G研	(4) ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.03g/㎡ <100-200mL/㎡> 0.04g/㎡ <100-200mL/㎡> 0.05g/㎡ <100-200mL/㎡> 対) ティンダール 芝生育期 雑草発生初期 0.045g <200mL>		継)	・倍量薬害での確認 (コウライシバ、ノシバ) ・連用試験での確認 (コウライシバ、ノシバ) ・実証試験での確認 (コウライシバ、ノシバ) ・緑化木への影響の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
18. SB-5521 顆粒水和 ベンデメタリン:53% [ス・デ・イ・エス・エフ・イ・テック]	バーミュー ダグラス	適用性 継続	静岡G場協会 新中国G研 かごしま空港CC (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般(材料を除く) 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 〈水量〉 /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.3g <200~300mL 0.45g <200~300mL 0.6g <200~300mL 対) クイックプロップ 芝生育期 雑草発生前 0.6g <200~300mL	・処理後90~120日 での調査を希望	実 ・ 継	実) [秋冬作: (クワイバ、ノバ、バーミュー ダグラス) 一年生雑草(材料を除 く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.3~0.6g<200~300mL>/㎡ ・土壌処理 継) ・効果・薬害の確認 (バーミューダグラス) ・倍量薬害での確認 (バーミューダグラス) ・連用試験での確認 (バーミューダグラス) ・実証試験での確認 (バーミューダグラス) ・緑化木への影響の確認
19. SYJ-111 乳 S-メトクロル:83.7% [シジエンタージャパン]	バーミュー ダグラス	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 〈水量〉 /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.25mL <200~300mL> 0.3mL <200~300mL> 0.4mL <200~300mL> 対) デュアル剤 芝生育期、雑草発生前 0.7mL <200~300mL>	・処理後90~120日 での調査を希望	実 ・ 継	実) [秋冬作: (クワイバ、ノバ、バーミュー ダグラス) 一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.25~0.4mL<200~300mL>/㎡ ・土壌処理 継) ・効果・薬害の確認 (バーミューダグラス) ・倍量薬害試験での確認 (クワイバ、ノバ、バーミューダグラス) ・連用薬害試験での確認 (クワイバ、ノバ、バーミューダグラス) ・実証試験での確認 (クワイバ、ノバ、バーミューダグラス) ・緑化木への影響の確認
	クワイバ	連用薬 害 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 〈水量〉/㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.4mL <200~300mL>	連年施用4回目		
	ノバ	連用薬 害 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 〈水量〉/㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.4mL <200~300mL>	連年施用4回目		
	バーミュー ダグラス	連用薬 害 継続	新中国G研 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 〈水量〉/㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.4mL <200~300mL>	連年施用4回目		
20. SYJ-192 プロアブル トリフロキシメチロンナトリウム 塩:10% [シジエンタージャパン]	クワイバ	適用性 新規	東日本G研 植調研 埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	ねらい 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 〈水量〉 /㎡ 茎葉兼土壌処理 雑草発生前・芝生育期 0.02mL <100~200mL> 0.025mL <100~200mL> 0.045mL <100~200mL> 0.05mL <100~200mL> 対) トコナト顆粒水和剤 雑草発生前・芝生育期 0.0045g <150~250mL>	・処理後90日での調 査を希望	実 ・ 継	実) [秋冬作: (クワイバ) 一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.02~0.05mL<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 継) ・年次変動の確認(クワイバ) ・倍量薬害試験での確認 (クワイバ) ・実証試験での確認(クワイバ) ・緑化木への影響の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
21. SYJ-194 プロアブル アロジミン:40.7% 〔シジエンタ ジャパン〕	ベントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 新中国G研	(2) ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(科科除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.1mL <200~300mL> 0.18mL <200~300mL> 0.26mL <200~300mL> 対) クラプロック 芝生育期、雑草発生前 0.12g <200~300mL>	・「グリーン」では使用し ない ・科科雑草の優占箇 場は避ける ・処理後120~150日 での調査を希望	実 ・継	[秋冬作; (コライシバ、ノハ、バ・ミュー グ) 一年生雑草(科科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.14-0.26mL<200-300mL>/㎡ ・土壌処理 [秋冬作; (ベントグ) ラス、クンタキア グ) 一年生雑草(科科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.1-0.26mL<200-300mL>/㎡ ・土壌処理
	クンタキ アブルグ ラス	適用性 継続	東日本G研 新中国G研	(2) ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(科科除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.1mL <200~300mL> 0.18mL <200~300mL> 0.26mL <200~300mL> 対) クラプロック 芝生育期、雑草発生前 0.12g <200~300mL>	・科科雑草の優占箇 場は避ける ・処理後120~150日 での調査を希望	注) ・ベントグリーンでは使用しない 継) ・低薬量(0.1mL/㎡)での効果の確 認(ベントグ) ラス、クンタキア ブルグ) ラス、バ・ミューグ) ラス ・倍量薬害試験での確認(コライ シバ、ノハ、クンタキアブルグ) ラ ス、バ・ミューグ) ラス ・連用試験での確認(コライシバ、 ノハ、ベントグ) ラス、クンタキ アブルグ) ラス ・実証試験での確認(コライシバ、ノ ハ、ベントグ) ラス、クンタキア ブルグ) ラス ・緑化木への影響の確認	
22. SYJ-225 プロアブル アロジミン:50.0% メトキサ:5.0% 〔シジエンタ ジャパン〕	クンタキ アブルグ ラス	連用薬 害 継続	クンタキアブルグ 新中国G研	(2) ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 雑草発生前、芝生育期 0.26mL <200~300mL>	連年施用4回目		
	コライシ バ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研	(4) ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 クラプロック その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期(生育休止期)、雑草生育期 0.06mL <150~250mL> 0.08mL <150~250mL> 0.1mL <150~250mL> 対) エコノミカ顆粒水和剤 芝生育期(生育休止期)、雑草生育期 0.003g <150~250mL>	・「ス」メトキサ:50~55薬 期までに処理を行 う ・処理後45~60日 での調査を希望 ・芝の萌芽に対する 影響を調査する	実 ・継	[秋冬作; (コライシバ、ノハ) 一年生 雑草、クンタキアブルグ) 一年生 雑草(科科を除く)] ・芝生育期(生育休止期)、 雑草生育期 ・0.06~0.1mL<150-250mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 注) ・「芝生育期(生育休止期)」とは、 茎葉の一部に緑色が残ってい ても、生育の停滞している時 期を指す
	ノハ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研	(4) ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 クラプロック その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期(生育休止期)、雑草生育期 0.06mL <150~250mL> 0.08mL <150~250mL> 0.1mL <150~250mL> 対) エコノミカ顆粒水和剤 芝生育期(生育休止期)、雑草生育期 0.003g <150~250mL>	・「ス」メトキサ:50~55薬 期までに処理を行 う ・処理後45~60日 での調査を希望 ・芝の萌芽に対する 影響を調査する	継) ・倍量薬害試験での確認 (コライシバ、ノハ) ・連用薬害試験での確認 (コライシバ、ノハ) ・実証試験での確認 (コライシバ、ノハ) ・緑化木への影響の確認	

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
23. SYJ-229 液 アセトA:30.0% MDBA:944塩:3.0% [タシジエンタ ジャパン 保土谷UPL]	コウライシ ハ	適用性 雑統	サントリス CC 新中國G研 西日本G研 (3)	ねらい 雑草発生初期	・処理後40～60日 での調査を希望	実 ・ 継	[秋冬作: (コウライシハ、ノシハ) 一年生 雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生初期 ・ 0.45～0.75mL/200～300mL/m ² ・ 茎葉処理 [雑] ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 連用薬害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 緑化木への影響の確認
				対象 雑草			
				設計 茎葉処理 芝生育期、雑草発生初期 薬量 0.45mL/200～300mL (水量) 0.6mL/200～300mL /m ² 0.75mL/200～300mL 対) アセト液剤 芝生育期、雑草発生初期 0.5mL/200～300mL			
				対象 雑草			
24. TH913H4 707ア イマダスル:40% [日本カリンファント ガー デン]	コウライシ ハ	適用性 雑統	東日本G研 新中國G研 西日本G研 (3)	ねらい 雑草発生前	・処理後120日での 調査を希望	実 ・ 継	[秋冬作: (コウライシハ、ノシハ) 一年生 広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2～0.4mL/200～300mL/m ² ・ 土壌処理 [秋冬作: (コウライシハ、ノシハ、ケンタッキー ブルーグラス) 一年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 (3 薬期まで) ・ 0.1～0.2mL/200～300mL/m ² ・ 土壌処理 [秋冬作: (ベントグラス) 一年生広葉 雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 (3 薬期まで) ・ 0.1～0.15mL/200～300mL/m ² ・ 土壌処理 [秋冬作: (コウライシハ) 多年生広葉雑 草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 (3 薬期まで) ・ 0.2mL/200～300mL/m ² ・ 土壌処理 [雑] ・ 発生前処理での効果、薬害の確 認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 発生前処理での 0.2mL/m ² につ いて年次変動の確認 (コウライシハ) ・ 多年生広葉雑草に対する効果の 確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ベントグラス、ケ ンタッキーブルーグラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ベントグラス、ケ ンタッキーブルーグラス) ・ 緑化木への影響の確認
				対象 雑草			
				設計 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 薬量 0.2mL/200～300mL (水量) 0.3mL/200～300mL /m ² 0.4mL/200～300mL 対) イマダスルDF 芝生育期 雑草発生前 0.03g/200～300mL			
				対象 雑草			
	ノシハ	適用性 雑統	東日本G研 新中國G研 西日本G研 (3)	ねらい 雑草発生前	・処理後120日での 調査を希望		
				対象 雑草			
				設計 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 薬量 0.2mL/200～300mL (水量) 0.3mL/200～300mL /m ² 0.4mL/200～300mL 対) イマダスルDF 芝生育期 雑草発生前 0.03g/200～300mL			
				対象 雑草			

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
1. BES-004 液 17.0% [N' イシカワフ サイエンス]	ベントグ ラス	適用性 雑統	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 設計 実証試験、スズメノカタビの出穂抑制効果 スズメノカタビの出穂前から1ヶ月間隔 3回 本剤1.5mL/㎡とワザワザワザ0.02mL×3回 <100-200mL> /㎡	スズメノカタビの出穂抑制 /ベンチカワフワザとの 組合せ	実・ 継 (従 来 ど お り)	実) [ベントグラス、ワザワザワザ] ス ズメノカタビの出穂抑制 ・ 芝生育期 スズメノカタビの出穂前から3回処理 ・ 1.0～1.5mL/100～200mL/㎡ (散布間隔 1ヶ月程度) ・ 茎葉処理 注) ・ 出穂を完全に抑える作用は弱い が、処理を重ねるにつれ、スズメ ノカタビの出穂数が徐々に減少す る 継) ・ 倍量薬害試験での確認 (ベントグラス、ワザワザワザ) ・ 実証試験での確認 (ワザワザワザ) ・ 緑化木への影響の確認

C. 展着剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
1. AKD-9043 液 本・リキチンシレンアルキルエー ル:55% [アグロネショウ]	コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 設計 全面土壌散布 芝生育期(生育休止期) 雑草発生初期 グラムマックス0.1g+本剤4000倍<200-300mL> グラムマックス0.1g+本剤2000倍<200-300mL> グラムマックス0.2g+本剤2000倍<200-300mL> グラムマックス0.2g+本剤1000倍<200-300mL> (倍量区) 対)グラムマックス水和剤(展着剤不適用区) 0.2g <200-300mL>	グラメックス水和 剤への加用	-	
	ナバ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 設計 全面土壌散布 芝生育期(生育休止期) 雑草発生初期 グラムマックス0.1g+本剤4000倍<200-300mL> グラムマックス0.1g+本剤2000倍<200-300mL> グラムマックス0.2g+本剤2000倍<200-300mL> グラムマックス0.2g+本剤1000倍<200-300mL> (倍量区) 対)グラムマックス水和剤(展着剤不適用区) 0.2g <200-300mL>	グラメックス水和 剤への加用	-	